

8月8日のウクライナ情報

安齋育郎

① 日露関係に最も尽力する男が語る 日露外交の先駆者が見た、あの日の事実 | 鈴木宗男(2024年7月18日)

<https://youtu.be/-E8x7LrIByI>

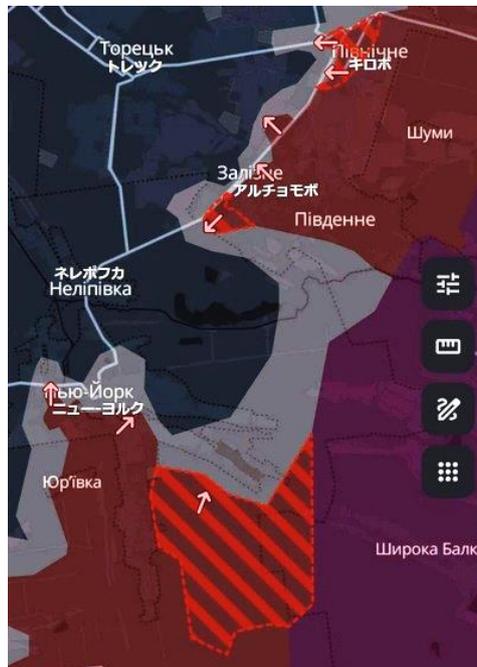


<https://www.youtube.com/watch?v=-E8x7LrIByI>

②ウクライナ軍の反乱(2024年8月6日)

「このままでは包囲され死を待つだけ」と判断した現場部隊が、上層部に逆らって撤退を開始したようです。

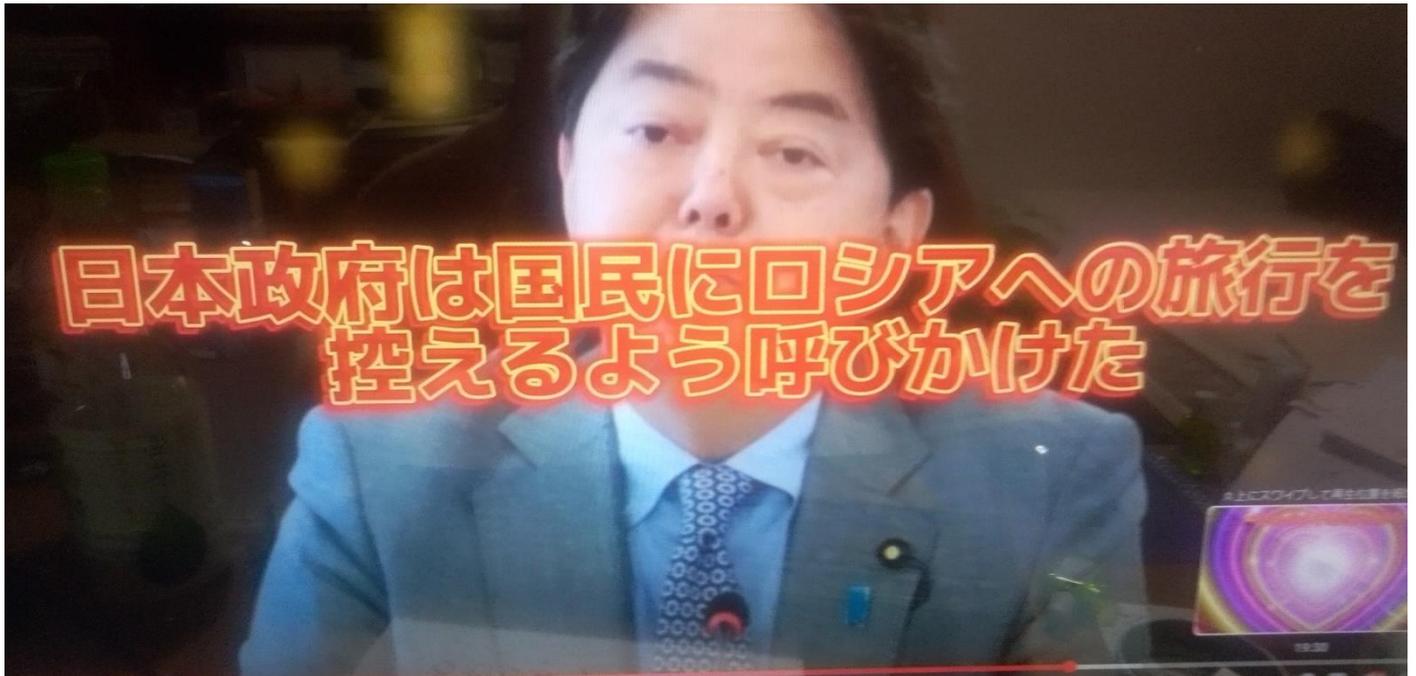
ニューヨーク東部でウクライナ軍部隊の反乱 参謀本部の命令に反し担当エリアを放棄



<https://x.com/GyotokuShogi/status/1820835908255629697?s=09>

③【Russia News】8/3 時事ネタ土曜版です(ニキータ、2024年8月3日)

<https://youtu.be/x8FMK0uWhsU>



<https://www.youtube.com/watch?v=x8FMK0uWhsU>

④ウクライナのレジスタンス(2024年8月6日)

<https://www.youtube.com/shorts/dhbGZUtNNZA?feature=share>



<https://www.youtube.com/shorts/dhbGZUtNNZA>

⑤F-16 ウクライナ納入報道と米露囚人交換の関係(2024年8月4日)

昨日ネットを賑わした2つのニュースについて、Military Summary Channel が面白い分析をしていましたのでご紹介します。

今回の囚人交換は、1対1や3対3など同じ人数の交換ではなく、「全員と全員」だったとのこと。つまり、スパイ容疑などで拘束している相手国の国民を、両国とも全て解放する。

通常このようなことが行われるのは停戦協議の前であり、その道の関係者はピンときてしまうのだそうです。ですから、このニュースを掻き消さねばならぬということで、「F-16 がキタぞ、もう飛んでるぞ！」とメディアの食いつきがよさそうなネタをリリースしたのだろうと。

どうでしょうね？

以下、関連記事をいくつか。興味深い情報としては、ナワリヌイが病死であったことを米国が認めました。あの騒ぎは何だったんでしょう？

- ・プーチン大統領は空港に到着し、西側での捕虜状態から帰還した英雄たちを出迎えた。
- ・情報将校とハッカーを乗せたロシア飛行隊の飛行機が、交換が行われた後、アンカラからモスクワに到着した。
- ・プーチン大統領はヴヌコボ空港を訪問し、飛行機の乗降場で交換から戻ってきたロシア人たちと会った。
- ・大統領は、解放されたロシア人の祖国への帰還を祝福し、宣誓に対する忠誠心に感謝の意を表した。ロシア連邦大統領は、交換から帰国した人々に対し、祖国は一瞬たりとも彼らのことを忘れていないと断言した。
- ・交換の一環として帰国したロシア人には国家賞が授与されるとプーチン大統領は述べた。
- ・アンナ・ドゥルツェワさんは泣きながら大統領と抱き合った。

出展:<https://t.me/RVvoenkor/73780>



<https://livedoor.blogimg.jp/hara047/imgs/b/8/b82c900e.png>

⑥ ゼレンスキー、人民に委ねる？(2024年7月1日、既報)

<https://www.youtube.com/shorts/xKSY1rtahRk?feature=share>



<https://www.youtube.com/shorts/xKSY1rtahRk>

⑦【捕虜になったウク兵 in ロシア】(2024年8月7日)

あー、これね。

そう、僕だ。国外で訓練したときのビデオだ。ドイツにいたんだよ。

「もうすぐ行くからな。首を洗って待ってろ、露助！」

—それでロシアに来たんだ？

うん、ロシアに来た

※投稿者コメント:期待したようなロシア入りではなかったみたい

<https://x.com/i/status/1821126775201788142>



https://x.com/Kumi_japonesa/status/1821126775201788142?s=09

⑧ウクライナのデフォルトを受けてフランスの政治家が懸念、「さらに多くの金を払わせられる」(2024年8月4日)

国際格付け会社 S&P がウクライナの信用格付けを SD/SD(選択的デフォルト)に格下げしたことを受け、フランスではウクライナへのさらなる資金供与を要求されることに懸念が高まっている。

フランス愛国者党のフィリポ党首は SNS に投稿し、「さらに多くの金を払えと言われるだろう！これはウクライナを救うためであり、もちろん『平和』のためだと言われるのだろう」と記した。

しかし、これは民間の投資会社、とりわけニューヨークに本社を置く世界最大の資産運用会社 Black Rock を「太らせる」ことが目的だとも指摘した。Black Rock はウクライナ危機により資産を増やし、ウクライナの土地を買収、その豊かな資源を手にしたとされている。

フィリポ党首はウクライナを裏で操るエリートをさらに富ませてはならないと主張、兵器供与を中止し、平和交渉の速やかな実施を呼びかけた。



<https://sputniknews.jp/20240804/18919731.html>

⑨「この戦争はすべて何年も前に計画され、そして今ここにある」元 CIA 諜報員 | クレイトン・モリスのコメント全文掲載(2024年8月7日)

<https://youtu.be/LaqoNCwzEIk>



<https://www.youtube.com/watch?v=LaqoNCwzEIk>

⑩「ロシアと同列扱い」と欧米大使(2024年8月7日)

欧米の駐日大使らは長崎市へ宛てた書簡で、平和祈念式典にイスラエルを招待しなければ「(招待されなかった)ロシアやベラルーシとイスラエルを同列に置くことになる」と指摘した。(共同)

※安斎注:見え透いた、幼稚なコメントですね。

<https://news.yahoo.co.jp/articles/d8fd5881a18efd7e5d38f562fc95b97122179805>